

## II 委員会での検討状況

### 1. 委員会開催状況

	日時・場所	議題・協議事項
第1回	6月11日(水) 19:00~21:00 出雲ロイヤルホテル	・設置要綱について ・委員長、副委員長の選出について ・松くい虫防除薬剤散布の実施状況とその後発生した健康被害の状況などについて ほか
第2回	6月27日(金) 19:00~21:30 出雲市役所	・気中濃度、水質検査、残留農薬の検査結果などについて ・スミパインMCについて【住友化学株式会社】 ほか
第3回	7月14日(月) 19:00~21:30 出雲市役所	・風向・風速の追加資料 ・スミパインMCの粒度分布測定結果 ・目に対する刺激性試験のガイドラインについて【住友化学株式会社】 ほか
第4回	7月25日(金) 19:00~21:40 出雲市役所	・委員提出資料について
第5回	8月19日(火) 19:00~21:00 出雲市役所	・聞き取り調査について
第6回	9月1日(月) 19:00~21:30 出雲交流会館	・住友化学株式会社提供資料説明 ・気中濃度調査に関する確認事項について
	9月3日(水)・4日(木)	・調査委員による小中学生への聞き取り調査
第7回	9月11日(木) 19:00~21:45 出雲交流会館	・小中学生への聞き取り内容について(非公開) ・論点整理
第8回	9月18日(木) 19:00~22:00 出雲交流会館	・論点整理 ・報告書(案)について

### 2. 論点となった事項

- ①花粉アレルギー(マツ花粉、イネ科花粉)
- ②大気汚染物質(光化学オキシダント、黄砂、硫酸化物、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質)
- ③農薬空中散布  
(散布時間帯、散布薬剤、風速、飛散・気中濃度、分析方法、眼刺激性、薬剤摂取経路)
- ④医師の所見
- ⑤疫学的解析

### III 委員会報告

(被害の原因と空中散布の  
関係についての結論全文)

健康被害をもたらした原因

今回の健康被害に関係すると考えられるデータ、関連資料を入手することに努め、これらを基に議論を重ねた。

農薬の空中散布が実施された5月26日以降に被害の訴えが集中したことから、農薬の空中散布を中心に検討し、あわせて、被害症状に関係する可能性がある原因として、この時期に多いイネ科花粉アレルギー、光化学オキシダントを取り上げるとともに、当日診察にあたった複数の医師の所見、学校で行われた児童生徒に対する調査票を用いた疫学的解析結果を参考に検討した。

しかし、委員の見解には乖離があり、8回の検討をもつても一本化するに至らなかった。①に示す「農薬空中散布の可能性を否定できない」とする意見が多数を占め、少数ではあるが②に示す「農薬空中散布が原因」とする意見、ならびに③に示す「原因を特定できない」とするそれぞれ複数の意見があり、ここでは委員の見解を3つに大別して示さざるを得ない。

(次ページへ続く)

～松くい虫防除薬剤空中散布実施後に発生した健康被害について～

# 健康被害原因調査委員会 からの報告の概要



◀健康被害の原因調査報告書を西尾市長に提出する山本廣基委員長



▲第8回健康被害原因調査委員会の会議の様子

5月26日に市が実施した松くい虫防除薬剤空中散布の終了後に多くの市民の健康被害が発生したことを受け、その原因を究明し、空中散布との関連性を調査するために健康被害原因調査委員会(委員11人、山本廣基委員長)を、6月11日に設置しました。委員会から、市長に対して、9月24日に報告書が提出されました。

8回にわたる協議の経過と、報告書の概要についてお知らせします。なお、市のホームページにも報告書を掲載しています。

## I 事実経過

### 1. 空中散布の実施状況

- ①実施日:平成20年5月26日
- ②散布場所・散布面積・散布時刻  
湖陵(大山)、出雲(浜山・長浜) 71.40ha 5時20分~7時46分  
多伎(小田・口田儀・奥田儀) 279.52ha 5時31分~8時22分
- ③使用薬剤/スミパインMC(MEPマイクロカプセル剤) MEP23.5%含有  
カーテン散布:5倍希釈液を1haあたり60リットル散布  
大山、浜山、長浜  
一般散布:2.5倍希釈液を1haあたり30リットル散布  
小田・口田儀、奥田儀  
(※希釈液とは、原液を水で薄めた液のことです)

### 2. 被害状況

学校・本人・医療機関からの報告(6月25日時点、第2回委員会資料)  
症状を訴えた人 1,119人、うち受診した人 301人